PCT

4

国際予備審査報告

REC'D 2 2 APR 2004

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

[PCT36条及びPC1x				
出願人又は代理人 の審類記号 FD036-PCT	今後の手続きについてに	t、国際予備審査報 IPEA/41	8告の送付通知(様式PC7 6)を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP03/05065	国際出願日 (日.月.年) 21.0	4. 2003	優先日 (日.月.年)	
国際特許分類 (IPC) Int. Cl' C01D3/20、C	01F11/32, C2	2B34/12, (022B9/10	
出願人 (氏名又は名称) 住友チタニウムを	k式会社			
1. 国際予備審査機関が作成したこの 2. この国際予備審査報告は、この多	国際予備審査報告を法施	 行規則第57条(P	CT36条) の規定に従い ジからなる。	送付する。
2. この国際予備審査報告は、この部 この国際予備審査報告には、 査機関に対してした訂正を含 (PCT規則70.16及びPC この附属審類は、全部で	附属書類、つまり補正さ な明細書、請求の範囲及 て実施細則第607号参	れて、この報告の び/又は図面も添 照)	基礎とされた及び/又はこ	の国際予備審
3. この国際予備審査報告は、次のP				
Ⅱ		イの国際予備密査	報告の不作成	
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	5業上の利用可能性につい			
V X PCT35条(2)に規 の文献及び説明 ・ VI	定する新規性、進歩性又	は産業上の利用可	能性についての見解、それ	を裏付けるため
VI 国際出願の不備 VII 国際出願に対する意	見			
国際予備審査の請求告を受理した日 22.12.200	3	国際予備審査報告	号を作成した日 3.04.2004	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/ 郵便番号100-89	15	特許庁審査官(# <u></u> 廣野	知子	4G 9266
東京都千代田区霞が関三丁	日4番3万	電話番号 03	-3581-1101 内	線 3416 —————

	いた。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に さいて「出願時」とし、本報告書には添付しない。
ページ、 ページ、 ページ、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの 付の書簡と共に提出されたもの
項、 項、 	出願時に提出されたもの PCT19条の規定に基づき補正されたもの 国際予備審査の請求審と共に提出されたもの 付の書簡と共に提出されたもの
ページ/図、 ページ/図、 ページ/図、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの 付の書簡と共に提出されたもの
ページ、 	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
語である	
の言語	う翻訳文の言語 - は55.3にいう翻訳文の言語
ノ酸配列を含んで:	おり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。
たは調査)機関に携 表が出願時における	2列表 2出された巷面による配列表 2出された磁気ディスクによる配列表 5国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述 こる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出
ページ 項 ペー	ジ/図
そしたように、補正 5のとして作成した ければならず、本報	が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認めら。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上告に添付する。)
	は、

130	際	¥,,	曲	312	*	奴	4

国際出願番号 PCT/JP03/05065

見解				
新規性 (N)	請求の範囲 請求の範囲	1-9		
進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	1-9		
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 _ 簡求の範囲 _	1-9		
文献及び説明(PCT規則70.7)				
請求の範囲1-9に係る発明 ルカリ金属塩、アルカリ土類金 ン、チタン合金、ジルコニウム	は、国際調査報告属塩またはそれら	に引用されたい の混合物を溶融	ずれの文献に した金属塩に 種または2種	も「チタト
ン、デタン合金、シルコニッム 接触させることにより金属塩中 当業者にとって自明なものでも	の不純物除去する	こと」について	記載されてお	らず
				•